

<b>3類型</b>	鉋工業品又は鉋工業品の生産に係る技術	<b>通巻番号</b>	2-24-006
<b>地域資源名</b>	ニット	<b>認定日</b>	平成24年6月20日
<b>地域</b>	山形県山形市	<b>所管省庁</b>	経済産業省

**事業名: 独自技術で実現した「リネン・ニット」の商品化とブランド化による市場開拓**

会社名: 株式会社ケンランド

所在地: 山形県山形市双月町1-3-36

連絡先: TEL: 023-633-1155

URL: <http://www.kenland.co.jp/>

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・これまで編みロスにより商品化が困難であった麻(リネン)を素材とするニット製品の課題を独自の製造技術で克服し、山形ニット産地の紡績、染色、編み立てから製品まで一貫生産システムを活用して、ナチュラル志向のリネン・ニット製品を開発、国内外でプロモーション、販路開拓を行い、リネン・ニットブランドを確立する。

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・山形県のニット生産は、60数年の歴史を有し、紡績・染色・編み立て・製品まで、地域で一貫生産が可能なニット産地を維持している。
- ・当社は、昭和23年に当地で創業、紳士・婦人用横編み・丸編みニット製品の一貫生産を行い、3年前にリネン・ニットに着目して、独自の技術開発、マーケティング・リサーチに取り組んできた。
- ・リネン・ニットは、従来の製造工程では編みロスが多く商品化が困難であったが、当社では丸編み機と横編み機を改良、新製造システムを構築して編みロスを軽減し、商品化に成功した。
- ・10,000社以上が加盟するCELC(欧州麻連盟)を通じて最良の麻原料を入手、商品開発と提案を当社とCELCが協議して行う。

#### ◆市場性

- ・リネン・ニットはシワになり難く扱いやすく、早い段階で柔らかくなり風合いの良さが感じ取れ、吸湿速乾性にも優れることから、年間を通して着用できる他、家庭洗濯を可能にすることで市場が見込める。
- ・ナチュラル志向の顧客層を主なターゲットに、差別化した商品を展開する。

#### ◆販路

- ・リネン本来の良さを浸透させるプロモーションを行いながら販路を開拓、CELC(欧州麻連盟)の下、ヨーロッパ市場に浸透させる。



リネン・ニットのストール



リネン・ニットのレッグウェア



マット、敷物、小物等

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・山形整染株式会社試験室、山形県工業技術センター、木村商店(加工薬品販売、山形市)と連携して技術力を高める。
- ・山形ニット産地の強みを生かして、ニットはもとより生活雑貨の企業と連携して商品開発や製造(生産委託を含む)を行う。